

2019年9月3日

### 若手社員を対象に、独自に開発した研修プログラム「STEP」をスタート

専用工作機械メーカーである株式会社光機械製作所（本社：三重県津市、代表取締役社長：西岡慶子、以下、光機械製作所）は、この度、次世代を担う若手社員を対象に社内研修プログラム「STEP」をスタートさせました。弊社は、「人にフォーカスした経営」をベースに、これまで人材育成に力を注いできましたが、変化が加速する社会にあって、社員に求められるスキルやマインドは変化しています。そうした変化に対応すべく、SDGsやCSV(Creating shared value)<sup>※</sup>をテーマとする、独自の社内研修プログラム「STEP」を開発。6回の研修を通して、プロフェッショナルセンスを磨き、次世代のリーダーを育てていくことが目的です。第1期生となる若手社員は12名で、8月26日に開催した第1回目の研修には三重大大学のインターンシップ生も参加しました。インターンシップ生は希望により最終回まで受講することができます。

社内研修プログラム「STEP」は、社会の重要なキーワードの頭文字：Social & Sustainability（社会と持続可能性）、Technology & Teamwork（技術とチームワーク）、Environment & the Earth（環境と地球）、Professionalism with leadership（リーダーシップを伴ったプロフェッショナリズム）から名付けたものです。SDGsやCSV(Creating shared value)<sup>※</sup>について学ぶことを通じて、社会の課題解決のために、私たちが出来ることは何なのか、今後どのようなことを心にしながらリーダーシップを発揮し、またプロフェッショナルとしての道を歩んでいけばよいのかを、社員自ら考えていきます。



【本件に関するお問い合わせ】

株式会社光機械製作所 総務グループ 前野 (059)227-5511

<sup>※</sup>「CSV: Creating Shared Value」は、競争戦略を専門とするマイケル・E.ポーターが提唱したもので、「共有価値の創造」「共通価値の創造」と訳されます。企業の事業を通じて社会的な課題を解決することから生まれる「社会的価値」と「企業価値」を両立させようとする経営フレームワークです。

株式会社光機械製作所について

三重県津市を本拠とする専用工作機械メーカー。主な製品は、研削盤をはじめとする工作機械と切削工具の製造並びにレーザーによる超微細加工。特に、超硬工具加工用専用機や電解ロール研削盤では国内トップシェアの機種を持つ。創業1946年、従業員数105名（派遣、パートを含む/2019年9月現在）。「Be professional! : プロ意識に徹する」を基本理念に、70年以上にわたり蓄積された技術とノウハウにより技術革新を重ね、顧客に価値を提供できる高精度・高品質なモノ作りを目指している。2007年、経済産業省「明日の日本を支える元気なモノ作り中小企業300社」に選定、その他、三重県「男女がいまいきと働いている企

## Press Release

---

業 選考委員会奨励賞」(2009)、厚生労働省「23 年度 均等・両立推進企業表彰 均等推進企業部門 三重労働局長優良賞」(2011)、日本生産性本部「エンパワーメント大賞 奨励賞」(2014)、経済産業省「ダイバーシティ経営企業 100 選」(2014)、APEC 閣僚会議「APEC 女性活躍推進企業 50 選」(2015)、経済産業省「はばたく中小企業小規模事業所 300 社」(2016)、三重県「三重のおもてなし経営企業選」(2018) などを受賞。経済産業省及び日本健康会議「健康経営優良法人 2019 (中小企業法人部門)」(2019) に認定。HP は <http://www.hikarikikai.co.jp/>